

013

リソース制約に応じた代替戦略とキッチンカーの活用等より、災害時における病院・介護施設への食事提供を継続

取組主体

富士産業株式会社

従業員数

想定災害

実施地域

17,708人

全般

全国

・リソースの代替性確保（BCP）やキッチンカー配備によって、災害時における病院・介護施設・福祉施設への食事提供を実現する取組

1 取組の特徴（はじめたきっかけ、狙い、効果、工夫した点、苦労した点）

「喫食者の身内のつもりになったサービス」を提供

- ・富士産業株式会社は、設立以来 50 年以上にわたり、病院・介護施設・福祉施設の食事提供事業を手掛ける。同社は、「『喫食者の身内のつもりになったサービス』を提供しましょう」という経営方針のもと、身内のつもりになったサービス、安全・安心な食事を 1 日 3 食 3 6 5 日、休まず提供し続けることを継承してきた。

代替戦略で食事提供の継続

- ・2016 年の熊本地震を機に、サービス提供先である医療機関や介護福祉施設などで BCP のニーズが高まった。また災害拠点病院で BCP の整備が必須要件となったことなどをを受けて自社 BCP の策定に着手した。非常時においても、すべての役職員が喫食者のために主体的に行動するために、医療機関や介護福祉施設への食事の提供を継続するように取り組んでいる。
- ・医療機関や介護福祉施設への食事の提供を継続するにあたっては、各リソースに代替性を持たせること（代替戦略）が重要である。代替性を検討するにあたっては、食事の提供に必要なリソースを以下の 5 つに分類した。
  - ① 厨房がある建物 ② 厨房設備、食器等 ③ 従業員 ④ 献立（情報）⑤ 外部リソース（ライフライン、食材供給業者）
- ・① 厨房がある建物や② 厨房設備、食器等については、近隣の事業所設備の活用を図った。また、各事業部に分散備蓄している使い捨て食器の活用も図った。③ 従業員については、全国規模で展開している強みを活かした応援体制を構築した。④ 献立は、在庫や供給可能な食材により柔軟に対応できる献立を検討することとした（医療・福祉の食事においては常に注意が必要なアレルギー対応献立、火を使わずに提供できる献立なども含んでいる）。⑤ 外部リソースについては、水やカセットコンロの備蓄、全国に広く展開している食材仕入れ先を通じた「代替供給体制」の施策を組み合わせた。これにより、リソースの制約に応じた食事提供を可能とする体制を整えた。
- ・また、新型コロナウイルスの影響下においては、外部からの人的応援を受けられないという新しい制約が発生したが、物流網・電力供給・冷凍庫等は影響を受けていなかったため、さらなる代替手段として自社製品である冷凍弁当（食事療法食弁当）によって食事提供を行っている。

キッチンカーによる調理の代替

- ・また、キッチンカーも複数台保有している。保有しているキッチンカーは、大型のトラックに厨房設備と給水タンク、発電機、ガスボンベ等の設備を搭載した自己完結型の車両となる。そのため、インフラが寸断されても食事の調理・提供が出来る移動式の厨房となっている。また、運転席から調理の状況を監視でき、施設の厨房と同等の衛生管理品質を保つことができる。キッチンカー 1 台につき、100 床規模の病院施設に対応することができ、更に、キッチンカーの連結により、1 日最大 3,000 食の食事提供も可能になる。現在 3 台のキッチンカーと 1 台の電源車、1 台の盛付車が稼働中である。
- ・同社では、滋賀県草津市と「災害時における物資の調達および輸送の協力に関する協定書を、愛媛県松山市と「災害時等における物資の供給に関する協定書」を締結している。災害発生時には、これら自治体からの協力要請に応じ、保有施設やキッチンカーで調理した食事を含む調理済食料品、飲料水等の調達および輸送を行う。

## 国土強靱化



キッチンカーの外観



連結により最大 3,000 食が提供可能

### 2 取組の平時における利活用の状況や効果

- ・労働集約型企業である同社は、BCP 策定に当たり、人材とその育成、またその人材がスムーズに災害対応に取り組めるようにすることを重視している。そのため、全国すべての事業部に BCP 推進役を 1 名以上配置している。BCP 推進役は事業部・事業所に対する教育やシミュレーション訓練の指導を行う。
- ・キッチンカーの操車訓練、食事提供訓練、各地のイベントなどへの出動、災害協定を結んでいる自治体との災害対応訓練、病院での BCP に沿った協力体制の訓練等では、実施後に振り返りを行い、次の訓練に生かしている。



防災訓練でのキッチンカーの稼働確認

### 3 現状の課題・今後の展開等

- ・これまで、特に災害等への対応では食事の提供に注力するあまり、活動の証拠となる労務や食材の記録があいまいになることがあった。これが原因で、同社の活動の評価につながらず対価を得られない事例があり、ビジネスの観点で課題があった。食事を提供した証拠となる記録がビジネスの継続には非常に重要であり、事業継続への取り組みにおいてこの面での認識を新たにできた。

### 4 周囲の声

- ・災害協定を締結している自治体の災害対応訓練に毎年参加し、当社は炊き出しを担当している。いただいた感謝状を見て当社の事業継続が社会貢献につながっていることを実感しました。(訓練参加者)

#### 担当者の声

- ・医療・介護施設・福祉施設における食事提供の継続は、入院患者・利用者の生命と健康を守るという観点から私たちの社会的責任です。我々が食事提供を全うすることが社会に貢献することだと認識し、喫食者の身内のつもりになったサービス、安全・安心な食事を提供し続けて参ります。

#### 問合せ先

富士産業株式会社 法人番号: 7010401026784  
TEL : 03-5400-6111 (代) FAX : 03-5400-6122 E-Mail : kouhou-h@fuji-i.com

#### 動画

-

#### サイト URL

